

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「忍」

人間、気がついたときには、父母があり、家族があり、今の自分というものが既にある。「なぜこんな家に、なぜこんな自分に生まれてきたのか」と問うても、誰からも答えは返ってこない。

「忍」とは、自分の身に起こるできごとを試練ととらえる姿勢である。この運命を引き受けてどう生きるか、それが問いかけられているのである。

桜は桜たるに甘んじ、松は松たるに安んず、
真智真勇自ら此の中に在り。正名正利自ら此
の間に存す。 (「藪椿」3-4)